

CASBEE®広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島文教女子大学新1号館新築工事	階数	地上5F
建設地	広島県広島市安佐北区可部東	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火地域	平均居住人員	650 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,340 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2018年3月5日
敷地面積	39,887 m ²	作成者	野村竜也
建築面積	1,733 m ²	確認日	2018年3月6日
延床面積	4,847 m ²	確認者	池田貴久



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 88% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 88%

④上記+ 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 2.9	スコア = 3.0	スコア = 2.8
設計の計画し特段に配慮した事項 モデル建物法計算結果により、BPI _m =0.83のため / / モデル建物法により、BEM = のため / / / [BPI]=0.8以上としている	設計の計画し特段に配慮した事項 / / /	設計の計画し特段に配慮した事項 給水、排水配管は各所にPSを設け、更新しやすい施設としている。 / 給水、排水配管は各所にPSを設け、更新しやすい施設としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される